

ネタバレシート

注意！読むのはまずムービーを見てから！

なるべく、このページを読まれる前に、動画をご覧ください。
ムービーのラストに表示される案内の操作がうまく
行かなかった場合か、コンテンツを体験した後に、以下の説明をお読みください。

■空耳・ブランデッド・コンテンツ

この動画は、小林市の方言である「西諸弁」の訛りを逆手にとり、その魅力を最大限活用した「空耳・ブランデッド・コンテンツ」。実は、フランス人男性が話している言葉は、最初から最後まで全編フランス語ではなく、紛れも無い「西諸弁」なのです。

■市役所職員が西諸弁のスーパーバイザーに

この企画のきっかけは、「西諸弁の訛りが激しく、外国の言葉のように聞こえる」と昔からよく言われていたことでした。それを本気でエンタメ化したら、方言のおもしろさを通して市に興味を持ってくれる人が増えるのでは…？と、実際にフランス人ナレーターの方に方言を読んでもらうことに。

しかし、本場の西諸弁はとってもディープ。東京にいる制作スタッフは全く解読できず、市役所職員が総出で文章を構成。フランス語と西諸弁が飛び交う中、チーム一丸となり、バレそうでバレないギリギリのラインを狙って収録に臨むなど工夫を凝らしました。

■シティプロモーションに新しいバイラル要素を

最後の一言を聞いて、「えっ！？本当？もう一回確かめてみよう…」という気持ちを誘発し、最低でも2回は見たくなるという、マーケティング的にも新しい試みです。

■YouTube史上初！？方言に字幕を乗せられる！

ムービーを見終わった後に、YouTubeで設定できる字幕の存在が明かされ、聞き取るのさえ難しい西諸弁の字幕が同ムービーの上に重ねて見られます。一度ネタバレした後に、さらに西諸弁の奥深さに触れられる企画です。

以下の方法で、YouTubeの字幕をONにすると、西諸弁字幕が表示されます。ぜひお試しください。

PC で見える場合



スマホ / タブレットの YouTube アプリで見える場合

